

最近の住宅用火災警報器奏功事例

発生日	場 所	建物種別	原因概要	状 況
平成30年3月	飯塚市	一般住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたまま別の部屋にいたところ、空焚き状態の鍋から発生した煙により住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付き、119番通報した。
平成29年11月	飯塚市	長屋住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたまま出かけてしまい、空焚き状態の鍋から発生した煙により住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が換気扇からの煙の噴出及び住宅用火災警報器の警報音に気付き、119番通報した。
平成29年10月	嘉麻市	一般住宅	鍋の空焚き	住人が鍋をガスこんろの火にかけたまま寝てしまい住宅用火災警報器の鳴動音で空焚きに気付いたもの。 住人が煙を確認後、緊急通報ボタンにて福岡安全センター(株)に通報、福岡安全センター(株)から119番通報される。
平成28年5月	飯塚市	長屋住宅	子どもの火遊び	子どもの火遊びによる煙に住宅用火災警報器が鳴動し、隣の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付いたため、知人宅にかけこみ119番通報した。
平成28年4月	飯塚市	共同住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけたままガスを消し忘れ、鍋が空焚き状態となり室内が煙で充満したため、住宅用火災警報器が鳴動した。隣の住民が換気扇からの煙の噴出及び住宅用火災警報器の警報音に気付き、避難誘導をした後に119番通報した。
平成28年1月	飯塚市	共同住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけ、そのまま就寝したため、鍋の空焚き状態となった。隣戸の住民が住宅用火災警報器の警報音に気付き、窓から内部を確認すると白煙と炎が見えたため119番通報した。
平成27年8月	嘉麻市	店舗兼住宅	放 火	出火建物の住民が2階寝室にいたところ、1階店舗の住宅用火災警報器の警報音に気付いた。1階へ下りると炎を確認したため119番通報した。
平成27年6月	嘉麻市	一般住宅	鍋の空焚き	居住者がガスこんろに鍋をかけ、そのまま外出したため、鍋の空焚き状態となった。近隣の住民がその異臭に気付き、家の外に出たところ住宅用火災警報器の警報音と煙を確認したため119番通報した。